

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保育原理		
担当者(Instructors)	後藤 永子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)
保育の意義及び目的についての理解を図るため、保育の基本を通し、保育の内容と方法の基本を学び、子どもと保育に対する考え方を知る。さらに、保育の思想や歴史的変遷を概観しながら、保育の現状や課題について分析し、子どもの発達にとってよりよい保育とは何かを考える。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	保育の概念、課題テーマについてディスカッションを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、保育の原理とはなにか	保育原理の概念、受講の留意点	☐
第2回	保育とはなにか	保育の理念、保育に関する法体系について学ぶ	☐
第3回	発達過程に応じた保育	子どもの発達に関する理論を学び、発達を理解することの意義について考える	☐
第4回	保育施設のしくみ	保育施設の種類について学び、施設の役割について学ぶ	☐
第5回	保育の制度の位置づけ	保育施設の制度の位置づけと基本原則について学ぶ	☐
第6回	日本の保育の歴史	日本の保育の歴史から思想と意義を学ぶ	☐
第7回	西洋保育の歴史	諸外国の保育の歴史から思想と意義を学ぶ	☐
第8回	日本の教育・保育の方向性	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿と小学校との接続について学ぶ	☐
第9回	3歳未満児の保育内容	3歳未満児の保育から、未満児保育のねらい・内容、保育方法を学ぶ	☐
第10回	3歳以上児の保育内容	3歳以上児の保育から、以上児保育のねらい・内容、保育方法を学ぶ	☐
第11回	保育の計画	保育の計画の意義と評価・反省・改善への道筋について学ぶ	☐
第12回	保育の場における子育て支援	子育てをめぐる問題と子育て支援の背景、子育て支援の基本的事項について学ぶ	☐
第13回	保育者としての専門性とその向上	保育の資質向上のために求められる保育者の専門性について学ぶ	☐
第14回	保育の現状と課題	外国の保育現状、日本の保育現状と課題について学ぶ	☐
第15回	まとめ	保育に関する理念、思想、歴史について理解できているかを確認すると共に保育者としての課題を見出す	☐

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)
事前学習は、前回の授業を確認してプリントを熟読することに2時間程度課す。事後学習は、授業内の資料やプリントを参照に2時間程度でまとめることを課す。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)
確認小テストは、採点後返却と説明をし、共通理解を図る

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育の意義および保育所保育指針における保育の基本について理解し、説明ができる。保育の内容と方法の基本、保育の思想と歴史的変遷について理解し、説明ができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	保育の現状と課題について考察し、自身の保育に対する考え方について述べることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 随時、授業内で確認小テストを行う				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省 「幼稚園教育要領（平成29年告示）」 フレーベル館	978-4-577-81422-2
2	厚生労働省 「保育所保育指針（平成29年告示）」 フレーベル館	978-4-577-81423-9
3	内閣府 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）」 フレーベル館	978-4-577-81424-6
4	プリント・資料を配布	
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介	
2		
3		
4		
5		